

2022年度 シラバス(授業内容)

昼間部 2年 観光科 トラベルコース

1.シラバスとは

シラバスは、授業の内容を予め受講者に知らせるもので、到達目標・使用教材・単位数等が記載されています。

当校の教育理念は「ホスピタリティマインド豊かな社会人の育成」です。ホスピタリティとはお客様をおもてなしすること、心配り・気配り・思いやりを意味します。相手の立場に立って考え、行動できる人間を育成することを念頭にカリキュラム編成をしています。同時に卒業後、即戦力として活躍できるよう専門分野においても基礎・応用からの実践教育を取り入れたカリキュラムとなっています。

2.科目編成(カリキュラム)の概要

科目編成は、共通科目と専門科目です。

全科目が必修科目となり、卒業にはすべての単位取得が必要です。

(1) 共通科目: 人間力を高めること、職業人として必要なビジネス教養を身に付ける科目構成です。

(2) 専門科目: 各科各コースの専門分野に即した科目構成です。



学校法人 中村学園

国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校

2022年度 昼間部2年 観光科トラベルコース

進級・卒業基準単位

		1年		2年		卒業 基準単位
		前期	後期	前期	後期	
必修	共通必修	7	8	6	6	27
	専門必修	18	21	22	17	78
合計		25	29	28	23	105

各期全単位を取得すること。

履修科目・単位一覧

実務経験のある教員による科目

	1年前期				1年後期				2年前期				2年後期			
	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数
共通科目	ホスピタリティ I	演	1	15	ホスピタリティ II	演	1	15	脳力開発 I	演	1	15	脳力開発 II	演	1	15
	ビジネスコミュニケーション I	講・演	1	15					ビジネスコミュニケーション II	講・演	1	15	ビジネスコミュニケーション III	講・演	1	15
	Let's Speak English I	演	1	15	Let's Speak English II	演	1	15	Let's Speak English III	演	1	15	Let's Speak English IV	演	1	15
	キャリアデザイン I	演	2	30	キャリアデザイン II	演	5	75	キャリアデザイン III	演	1	15	国際交流	演	1	15
	パソコン	演	1	15					卒業研究 I	演	2	30	卒業研究 II	演	2	30
	就職筆記対策 I	講	1	15	就職筆記対策 II	講	1	15								
	小計		7	105	小計		8	120	小計		6	90	小計		6	90
必修科目	旅行業法・約款	講	3	45	海外旅行実務 I	講	1	15	海外旅行実務 II	講	2	30	危機管理	講	1	15
	国内旅行地理 I	講	1	30	アマデウス I	技	1	30	パソコンスキル I	演	2	30	パソコンスキル II	講	2	30
	国内旅行地理 II	講	1	30	ニュースディスカッション I	演	1	15	ニュースディスカッション II	演	1	15	インバウンド業務	講	1	15
	国内旅行地理 III	講	1	30	Web入門 I	演	1	30	Web入門 II	演	1	30	Web入門 III	演	1	30
	各種運送約款・料金	講	1	15	Travel English I	演	1	15	添乗実務 I	演	1	30	添乗実務 II	演	1	30
	鉄道運賃・料金	講	3	45	海外観光資源 I	講	2	30	海外観光資源 II	講	2	30	海外観光資源 III	講	2	30
	時刻表実務 I	講	2	30	時刻表実務 II	講	2	30	総合旅行実務 I	講	2	45	総合旅行実務 II	演	2	30
	国内観光資源 I	講	2	30	国内観光資源 II	講	2	30	国内観光資源 III	講	2	30				
	国内管理者対策 I	講	2	30	国内管理者対策 II	講	4	60	接客手話 I	演	1	15	接客手話 II	演	1	15
	観光業界ガイド	講	1	15	観光実務 I	講・演	2	35	観光実務 II	演	2	30	観光実務 III	講	1	15
	観光プランニング I	演	1	15	観光プランニング II	演	2	30	観光プランニング III	演	2	30	観光プランニング IV	演	2	30
					Web筆記対策	講	1	15	世界遺産	講	1	15				
					プレゼン技法	演	1	15	Travel English II	演	1	15	Travel English III	演	1	15
									旅行業英語 I	講	1	15	旅行業英語 II	講	1	15
									English communication I	演	1	15	English communication II	演	1	15
小計		18	315	小計		21	350	小計		22	375	小計		17	285	
1年前期 計		25	420	1年後期 計		29	470	2年前期 計		28	465	2年後期 計		23	375	
計				1年 計		54	890	2年 計				51	840			
				2年間 合計											105	1730

	1年前期		1年後期		2年前期		2年後期	
	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位
行事	スタートアップセミナー		就職ガイダンス		スポーツ大会		中村学園祭	
	オリエンテーション合宿		中村学園祭				旅程管理研修	
	スポーツ大会							
	ステイマナー研修							

共通科目

シラバス(授業計画)

科目名	脳力開発Ⅰ・Ⅱ			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：15時間 後期：15時間
担当	住友 大我				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	トレーナー業、近年はトレーナー育成業を中心に15年ほどの実務経験があります。			
授業概要	心身ともに健康な状態で、社会人として長く活躍できるよう、メンタルトレーニングを中心とした脳の働き(脳力)を高める方法を学びます。				
到達目標	緊張からリラックス集中への反射を形成して、いつでも能力を発揮できるようになる。また、ストレスに対処する、ストレスを成長につなげる、モチベーションを高める、発想力を高めるなどの内容を、脳の働きをもとに理解する。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 任意 名称：メンタルウェルネストレーニング基礎課程				
教科書 教材	授業用教材セット				
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ メンタルトレーニング 思い方の練習(期待感と満足感を高める) 段階的リラクゼーション法(緊張からリラックスへの反射形成) 自律訓練法(リラックスした集中への反射形成) ・ ビジントレーニング 情報処理能力の向上(脳活ドリル、他) 視覚思考力、論理思考力の向上 ・ 脳力を発揮するための生活習慣 睡眠に関連する内容(疲労回復、記憶力、発想力との関連など) 運動、食事に関連する内容など ・ その他 自己分析(エゴグラム) メンタルヘルスに関連する内容(ストレスマネジメント、他) 能力発揮に関連する内容(目標設定、モチベーション、他) 				
成績評価 方法	試験、出席率、平常点(提出物・授業態度など)の組み合わせで評価します。 詳細は、各期の初回授業で説明します。				
成績評価 基準	【試験】A: 80点/ %以上、B: 70点/ %以上、C: 50点/ %以上、D: 50点/ %未満 【出席率】A: 100%、B: 80%以上、C: 60%以上、D: 60%未満 【平常点】A: 優、B: 良、C: 可、D: 不可				

学生へのメッセージ

後期の授業内でメンタルトレーニングの検定試験を実施します。
合格した場合は、保有資格としてプロフィールなどに記載することが出来ます。
なお、受検料は発生しません。

シラバス(授業計画)

科目名	ビジネスコミュニケーションⅡ・Ⅲ			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	講義・演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：15時間 後期：15時間
担当	岡田・橋本・担当講師				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無				
授業概要	目的：観光・ブライダル業界人としてふさわしいビジネスマナーや必要知識を身に付けること。 概要：1年次習得した基本のビジネスマナーを基にロールプレイを交えた発展的な内容を学ぶ。 また、一般常識や必要知識を学習する。				
到達目標	卒業後、新社会人として必要なビジネスマナーに関する知識を得ること。また、体現できること。				
検定資格	なし・必修・ <input type="checkbox"/> 任意 名称：秘書技能検定・ビジネス能力検定ジョブパス				
教科書 教材	秘書検定合格教本2・3級 新星出版社				
授業計画	<p>【接遇】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アポイントから訪問・来訪マナー、名刺交換 ・電話応対 ・上座、下座 <p>【一般常識】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス文書(基本文書体裁とルール、宛名書き) ・ビジネスメール ・ビジネス用語 <p>【知識】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年金、税、保険 ・組織(役職)と部門 ・慶弔 ・その他社会人として必要な知識 <p>ロールプレイ等を交えた実践的内容となると良い。</p>				
成績評価 方法	評価試験には期末試験の他、演習試験や小テストを含みます。				
成績評価 基準	A: 評価試験 80 点以上、出席率 85%以上、平常点優 B: 評価試験 70 点以上、出席率 70%以上、平常点良 C: 評価試験 50 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 評価試験 50 点未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

--

シラバス(授業計画)

科目名	Let's Speak English Ⅲ・Ⅳ			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：15時間 後期：15時間
担当	語学担当講師				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無				
授業概要	「英語で外国人と会話が出来たら...」ちょっとしたスキルとちょっとした勇気で、それは誰にでも実現可能なことです。シンプルなキーセンテンスを応用して使えるように、会話、リスニング、アクティビティを通して練習していきます。クラスはレベル別に分かれますが、どのクラスも授業は出来る限り English Only で進めます。				
到達目標	日常的な話題について、シンプルな英語でコミュニケーションをとることが出来る。 異なる国や文化の人々と積極的にコミュニケーションを図ろうとすることが出来る。				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	Speak Now Level 1 Student Book (Oxford)				
授業計画	<p>【My Hometown】 Asking about & describing places, asking for & giving suggestions, asking for & giving directions.</p> <p>【Shopping】 Prices & features, bargaining, frequency</p> <p>【Food】 Quantities, needs, eating habits, describing food</p> <p>【Past & Future】 Talking & asking about past events, introducing & reacting to news, future plans</p>				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	<p>A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 90%以上、平常点優</p> <p>B: 評価試験(理解度)60%以上、出席率 80%以上、平常点良</p> <p>C: 評価試験(理解度)50%以上、出席率 60%以上、平常点可</p> <p>D: 評価試験(理解度)50%未満、出席率 60%未満、平常点不可</p>				

学生へのメッセージ

Don't be shy! Do your best!

シラバス(授業計画)

科目名	キャリアデザインⅢ	科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース	授業形式	演習
実施期	2年 前期	単位数	前期：1単位
担当	就職担当		
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無		
授業概要	<p>1年次とは変わり、就活情報の共有を主とした授業となります。</p> <p>就活は各自の目指す業界、企業により開始時期や進行状況が異なりますので、個々の進行に応じ個別にバックアップし内定に向けサポート致します。また、内定者については自身も含めた就活情報の整理や入社に向けたビジネスマナーの習得をフォローしていきます。</p> <p>後期には内定者を対象に就職交流プラザもあります。後輩への指導や自分達の学校、学科を誇りと出来るように積極的に自分の出来る事を考え、行動する時間としましょう。</p>		
到達目標	<p>1、内定及び進路決定を得ること。</p> <p>2、社会人としての最低知識を有し、実行できること。</p> <p>3、自身の就職活動をまとめ、後輩指導に役立たせられること。</p>		
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:		
教科書 教材	CAREER ADVICE TEXT(インテリジェンス)		
授業計画	<p>【就職活動実践】 就活サイトを利用した就活、企業研究、求人確認、業界・企業動向研究、自己PR・志望動機作成、履歴書・ES作成、面接演習、GPワーク演習、小論文演習、SPI対策と模擬試験演習、企業講演</p> <p>【内定後】 お礼状作成、内定報告書類作成、就活資料の整理</p> <p>【ビジネスコミュニケーション】 ビジネスメール作成、受付と接客対応、名刺交換、ビジネスルールの理解、ビジネスセールストーク術、時事問題、グループワーク演習</p>		
成績評価 方法	期末試験の得点ならびに出席率がメインとなります。平常点は就職活動(進路活動)の取り組む姿勢、授業態度、提出物などが評価基準です。		
成績評価 基準	<p>A: 評価試験 85 点以上 かつ 出席率 90%以上、平常点優</p> <p>B: 評価試験 65 点以上 かつ 出席率 80%以上、平常点良</p> <p>C: 評価試験 40 点以上 かつ 出席率 60%以上、平常点可</p> <p>D: 評価試験 40 点未満、出席率 60%未満、平常点不可</p>		

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	卒業研究Ⅰ・Ⅱ			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：2単位 後期：2単位	時間数	前期：30時間 後期：30時間
担当	各ゼミ講師				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無				
授業概要	この科目は、自身の興味ある分野を広く調査研究し深く考察することを目的とする。観光関連の中から自らがテーマを決め、主体的に調査・研究を行い、考察を入れてレポートを作成する。今まで学校で学び得た知識や経験、図書館やパソコン、見識者、実地踏査などの手段により情報を集め研究する。講師からの助言・指導を受けながら卒業までにレポートをまとめる。また、研究成果の報告としてプレゼンテーションを行う。また、ゼミ内で優秀な作品を選出し、全体でのプレゼンを行う。なお、卒業研究レポートの中で秀逸なレポートについては、卒業時に「卒業研究レポート優秀賞」として表彰する。				
到達目標	①自身の調査した内容をレポートにまとめ提出する。 ②プレゼンテーションの作成及び発表を行う。				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:				
教科書教材	なし(適宜必要なプリントをゼミ担当者より配布)				
授業計画	<p>【進め方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業研究とは ・テーマの決め方 ・レポート作成における調査研究方法 <p>【調査研究】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査計画の作成 ・調査研究の進捗に合わせた個別指導 ・実施内容の確認 <p>【レポートのまとめ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート構成(序論、章、まとめ) ・レポート内容(目的、方法、結果、考察) ・文献資料を参考し作成する <p>【発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントの作成 ・サマリーの作成 ・台本の作成 ・プレゼンテーション練習と本番での発表 				
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・平常点は授業取組姿勢、研究意欲等を考慮する。 ・以下の提出物は全て提出すること。 <p>【提出物】前期:序論 後期:レポート・発表用資料</p>				
成績評価基準	<p>A: 出席率 90%以上、平常点 優</p> <p>B: 出席率 80%以上、平常点 良</p> <p>C: 出席率 60%以上、平常点 可</p> <p>D: 出席率 60%未満、平常点 不可</p>				

学生へのメッセージ

--

シラバス(授業計画)

科目名	国際交流		科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース		授業形式	演習
実施期	2年 後期	単位数	後期：1単位	時間数
担当	各担当講師			
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無			
授業概要	コロナ禍により一時は海外との交流が途絶えてしまいましたが、それでも今後、私たちが多くの国籍の方たちに接し、共に暮らし、共に働く環境が復活することでしょう。この科目は、ITHならではの校内で異文化に触れることが出来る環境を活かし、留学生との交流を通してお互いの「文化」「習慣」の違いを学び、理解を深めることを目的とします。			
到達目標	①外国人旅行者、移住者、働く仲間として交流のできる人材となる。 ②海外の方に伝えたい「日本の事」を動画で表現。社会に出た際に表現の組み立て、立案を行える事を目標。 ③日本の「文化」「習慣」をどのくらい知っていますか。自ら調査し接客に生かせる姿勢を身に着ける			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:			
教科書 教材	なし(適宜必要な資料、プリント等を配布)			
授業計画	<p>【日本の生活調査】 個人ワーク、グループワーク ①年中行事、自然風土、スポーツ、音楽、食べ物など、様々な分野について考える。 ②観光庁資料から「外国人旅行者が日本にきて困った事」を調べる。 チームごとの「こうしたら良いのでは？」といった改善策を含ませてチームごとに発表。</p> <p>【動画作成】 グループワーク チームに分かれてテーマを選び、徹底的に調査し(実地調査含む)、まとめる。</p> <p>【発表・交流】 留学生、ネイティブ講師に対して発表をする。</p>			
成績評価 方法	・授業取組姿勢 ・発表内容 ・国際交流への意欲			
成績評価 基準	A: 出席率 90%以上、平常点 優 B: 出席率 80%以上、平常点 良 C: 出席率 60%以上、平常点 可 D: 出席率 60%未満、平常点 不可			

学生へのメッセージ

--

トラベルコース

専門科目

シラバス(授業計画)

科目名	海外旅行実務Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベルコース			授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期:2単位	時間数	前期 :30時間
担当	担当講師				
	実務経験 : <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	旅行会社勤務7年。フリーランスの添乗員として海外添乗経験1000日以上。			
授業概要	海外旅行に必要な出入国法令の知識、ならびに海外旅行実務(時差の計算、航空会社や鉄道、ホテル、食事など)の海外事情や知識を習得します。 また、実際にお客様を添乗するときに必要な業務やトラブルの対処方法なども学びます。 旅行会社及び関連業界で働く上で役立つ裏話で盛り上げましょう!				
到達目標	旅行業務関連の仕事に求められる最低限の海外旅行業務知識を身につける 文化の異なる国々に興味を広げる事で、現地での対応能力を養う。				
検定資格	なし・必修・ <input checked="" type="checkbox"/> 任意 名称: 総合旅行業務取扱管理者				
教科書 教材	出入国法令と実務 旅行実務 (JTB 総研) 旅に出たくなる地図 世界 (帝国書院)				
授業計画	<p>時差: 標準時間、時差表見方、夏時間、2地点間の時差、相手国の現地時間、所要時間 航空: 航空会社、都市・空港コード、OAG航空時刻表 鉄道: ヨーロッパの主要列車と駅名、米国・アジア・オセアニア等の主要路線と列車の種類</p> <p>予防接種: 予防接種の目的、検疫感染症 査証手続: 査証の種類、取り扱い、免除プログラム 外貨手続: 外国為替及び外国貿易法</p> <p>船舶: クルーズ関連の専門用語、留意点 ホテル: ホテルの種類と特徴・料金設定、客室の設備・位置・眺望 その他: ホテルやレストランの食事、EU・シェンゲン協定・ユーロ、海外旅行保険</p> <p>上記の知識習得。</p>				
成績評価 方法	小テスト、期末テストの点数と出席率、平常点の総合点数にて評価する。				
成績評価 基準	A: 評価試験 80 点以上、出席率 90%以上、平常点 15 点以上優 B: 評価試験 60 点以上、出席率 80%以上、平常点 10 点以上良 C: 評価試験 30 点以上、出席率 60%以上、平常点 5 点以上可 D: 評価試験 30 点未満、出席率 60%未満、平常点 5 点未満不可				

学生へのメッセージ

就活や自身の旅行計画に役立てましょう!

シラバス(授業計画)

科目名	パソコンスキル I・II			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベルコース			授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期 : 2単位 後期 : 2単位	時間数	前期 : 30 時間 後期 : 30 時間
担当	宮崎 愛子				
	実務経験 : 有・ <input type="checkbox"/>				
授業概要	1 年時に学習した基本操作を踏まえて、実践力を養います。具体的な内容は、キーボード入力の時間短縮、エクセルを使った資料作成、例文を学習しながらのビジネス文書作成、パワーポイントの操作全般など。就職先での PC 操作に困らないよう、パソコンスキルを修得しましょう。				
到達目標	ワード・エクセルを含めたPC操作の基本を理解すること。ビジネス文章の作成、データからグラフを作成、パワーポイントを利用したプレゼンテーション資料が作成できるレベルを目指す。文字入力に対しては、タッチタイピングが行える程度。(日本語ワープロ検定3級程度の能力[10分の入力時間に対して 400 文字程度])				
検定資格	なし・必修・ <input checked="" type="checkbox"/> 任意 名称: 日本語ワープロ検定・マイクロソフトオフィススペシャリスト(MOS)検定				
教科書教材	なし(適宜プリントを使用します)				
授業計画	<p>【PC基本操作の確認】 ホームポジションを意識したタッチタイピングを練習する。(英数字・かな・漢字変換・文字の修正など)</p> <p>【ワード基本作業】 文章入力練習、ワードアート・図形描画を利用した表現力のある文書作成を行う。 ビジネス文書の基礎や仕組みを学び、手書き問題からビジネス文書を作成する。(表紙作成含む)</p> <p>【エクセル基本作業】 ワードアートや図形描画を利用した作表を学習する。 データを利用してグラフ作成を行い、視覚的分析力の方法を学ぶ。 データ入力の基本を理解し、関数を利用した表計算機能やデータベース操作を学習する。</p> <p>【パワーポイント基本作業】 操作方法を学習し、プレゼンテーション資料を作成する。(20分で1枚程度作成を目標とする。)</p>				
成績評価方法	授業理解度は課題作成進捗と評価試験を総合評価で判断 出席率、授業参加意欲も評価する				
成績評価基準	A: 授業理解度 70%以上、出席率 80%以上、平常点優 B: 授業理解度 60%以上、出席率 70%以上、平常点良 C: 授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

スマホが1台あれば何でもできてしまう時代のため、「パソコンが苦手」と公言する学生も少なくありません。しかし、仕事をする上でパソコン操作は必須です。就職してから困らないように、前向きに学習してみましょう。

シラバス(授業計画)

科目名	ニュースディスカッションⅡ			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベルコース			授業形式	演習
実施期	2年 前期	単位数	前期：1 単位	時間数	前期：15 時間
担当	富澤 邦明				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無				
授業概要	世の中でどのような動きがあるのかニュースに関心を持っていただくきっかけを作る。ニュースをピックアップし、色々な観点からニュースを考える。また講義が進むなかでグループワークなどを行い、ニュースについて意見を出し合い、考察する。				
到達目標	社会人準備としてどのような事が話題になっているのか、ニュースに関心を持つきっかけとコミュニケーションのツールとして役立てる。ニュースについて多角的な見方を養い、自分の意見を述べられるようにする。日々アップデートされる、時事問題等についても最新の情報を入手する姿勢を養う。				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:				
教科書教材	特になし インターネット上のニュース記事や新聞を用いる。				
授業計画	<p>どのようなニュースが話題なのか、いくつか用意したニュースについて各個人で考え、自分の考えを述べられるようにする。</p> <p>各自が、気になるニュースをピックアップして、そのニュースについて自分の考えと周りの考えを比較検討する。 (なぜ気になったのか、記載されている記事について違う考え方や見方が可能か等)</p> <p>用意したニュースについてグループワークを行い、ニュースについて多角的な意見を出し合い、それを纏める力と発表能力を鍛える。</p>				
成績評価方法	授業の出席率、受講姿勢、期末テストにて評価を行う。期末テストは、これまで取り上げたニュースで重要部分について出題するとともに、出題した記事について自分の考えを解答用紙に記入。記事について多角的に考えられる事や必要であれば、改善解決方法など記入し採点する。				
成績評価基準	<p>A: 評価試験 80 点以上 かつ 出席率 90%以上、平常点 優</p> <p>B: 評価試験 60 点以上 かつ 出席率 80%以上、平常点 良</p> <p>C: 評価試験 40 点以上 かつ 出席率 60%以上、平常点 可</p> <p>D: 評価試験 40 点未満、出席率 60%未満、平常点 不可</p>				

学生へのメッセージ

接客業務に就くには当然、業務知識は必要です。しかし、お客様はいろいろな業種の方が来館し、あなたと会話を交わします。常に、社会の動きに敏感になり、会話がはずめば、お互いに良い雰囲気の仕事ができると思います。新聞・テレビなどの事件・事故等、出来事を資料に授業を進めたいと思います。

シラバス(授業計画)

科目名	WEB 入門Ⅱ・Ⅲ			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベルコース			授業形式	演習
実施期	2年 前期 後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：30 時間 後期：30 時間
担当	眞舘 尚子				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無				
授業概要	1年時に覚えた技術や内容を踏まえ、集客を狙ったホームページの制作の技術を学んでいきます。				
到達目標	実際に多くのお客様に訪問してもらえるホームページを作成し、完成させる。				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	なし				
授業計画	<p>【ホームページ作成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に WordPress を使って、ホームページを作成していきます。 効果的な写真の選択と画像処理 ロゴの作成と埋め込み 1年生で作成した動画や文書の埋め込み 等 <p>【プレゼン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成したホームページをプレゼンする。 ホームページはただ作るだけでは意味がありません。興味を持ってもらい、集客につなげる必要があります。 約一年半かけて作ってきたホームページを、どんなコンセプトでどんな人たちに見てもらうために作ったのかを発表してもらいます。 				
成績評価 方法	出席率、受講姿勢、評価試験とプレゼンテーションの内容から総合的に評価します。				
成績評価 基準	<p>A: 評価試験 80 点以上、出席率 80%以上、平常点優、</p> <p>B: 評価試験 60 点以上、出席率 70%以上、平常点良、</p> <p>C: 評価試験 40 点以上、出席率 60%以上、平常点可、</p> <p>D: 評価試験 40 点未満、出席率 60%未満、平常点不可</p>				

学生へのメッセージ

集客につなげる効果的なホームページとはどんなものか、考えながら楽しく作成していきましょう。

シラバス(授業計画)

科目名	添乗実務Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベルコース			授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：30時間 後期：30時間
担当	株式会社旅行総研 担当講師				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	旅行業界にて添乗員実務経験あり。			
授業概要	<p>【前期;国内】アクシデントやイレギュラーな事態が起こった時などにスムーズに現地に対応するには、まず業務の基本を理解し頭に入れておくことが必要です。ツアーコンダクターとして行すべき業務はもちろん、それがなぜ必要な業務なのか意味を理解しながら学びます。</p> <p>【後期;海外】前期で学んだ国内添乗業務から、海外へ仕事の舞台を広げていくうえで必要となる様々な基礎知識の習得と基本業務の流れを学びます。</p> <p>海外添乗においては、言葉や文化の違いから、よりお客様に寄り添った接客が必要となります。国内旅行とは異なるツアーコンダクターに対する要望や期待に応えられるよう、幅広い知識の習得に努めます。</p>				
到達目標	国内、海外ツアーコンダクターとしての業務知識の習得と基本的な業務の流れを理解する。				
検定資格	<input type="checkbox"/> ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書教材	旅程管理研修教本(日本添乗サービス協会)				
授業計画	<p>添乗業務Ⅰ 【国内】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・添乗員の役割とお客様に対する接遇 ・業界用語を覚える ・クーポン券の種類 ・関係機関への予約確認とお客様への事前確認 ・バス席表の作成 ・集合場所スタンバイと受付 ・バス車内のご案内 ・人員点呼の重要性 ・食事場所や観光地での誘導 ・オプション・車内販売の方法 ・宿泊業務について ・JR業務の流れ ・AIR業務の流れ ・精算書作成の仕方 ・ツアー報告書の作成と重要性 	<p>添乗業務Ⅱ 【海外】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外添乗と国内添乗の違い(旅券と査証) ・業界用語を覚える(2レター、3レター) ・事前準備(下調べと資料作成) ・海外一般情報(CIQ、通貨、チップ、時差、気候、度量衡) ・英文アイティナリーの読み方 ・打ち合わせ業務 (受け取るべき書類とそれぞれの確認と対客電話) ・添乗業務 (スタンバイ～受付業務～出国～搭乗～機内) (現地到着～乗り継ぎと現地入国) (宿泊、食事、観光)(自由行動とオプションツアー) ・いろいろな乗り物(バス旅、列車、船) ・トラブル処理(海外旅行保険) ・帰国(帰国準備、海外での免税手続き、出国) ・日本到着(検疫、入国、税関) ・清算と報告(アンケートと個人情報) ・成田空港 見学研修 			
成績評価方法	【国内・海外共通】小テストと期末テストによる筆記試験と出席率と平常点の総合評価。				
成績評価基準	<p>A: 授業内評価試験 80点以上、出席率 90%以上、平常点優</p> <p>B: 授業内評価試験 60点以上、出席率 80%以上、平常点良</p> <p>C: 授業内評価試験 40点以上、出席率 60%以上、平常点可</p> <p>D: 授業内評価試験 40点未満、出席率 60%未満、平常点不可</p>				

学生へのメッセージ

ツアーコンダクターの仕事は裏方仕事でお客様からはなかなか見えにくい業務ですが、大事な業務を担っています。この授業でどのような業務を行っているかぜひ学んでください。

シラバス(授業計画)

科目名	海外観光資源Ⅱ・Ⅲ			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベルコース			授業形式	講義
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期 : 2 単位 後期 : 2 単位	時間数	前期 : 30 時間 後期 : 30 時間
担当	担当講師				
	実務経験 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 旅行業界にて国内外の添乗員として 20 年の実務経験あり。				
授業概要	<p>目的: 世界の主だった国と地域について、広く浅く理解する。「総合旅行業務取扱管理者」の受験に向けての、下地となる知識の習得。</p> <p>概要: すでに海外実務地理Ⅰで基本を習得していることを前提とし、観光資源を国別・テーマ別等、視点を変えてさらに学習。</p> <p>※海外観光地理検定および総合旅行業務取扱管理者試験の合格をターゲットにした授業ではありません。合格のためには、各自別途学習が必要です。</p>				
到達目標	主だった国と地域の観光の特性が理解できる。 総合旅行取扱管理者試験受験の下地となる基礎知識の習得。				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	海外観光資源(JTB 総合研究所) 旅に出たくなる地図 世界(帝国書院) 適宜プリント配布				
授業計画	<p>【アジア各論】 韓国/中国本土/台湾/香港/ベトナム/カンボジア/タイ/マレーシア/シンガポール/インドネシア/フィリピン/インド</p> <p>【オセアニア各論】 オーストラリア/ハワイ/グアム・サイパン</p> <p>【北米各論】 アメリカ合衆国/カナダ</p> <p>【中南米各論】 メキシコ/ブラジル/ペルー/チリ/アルゼンチン</p> <p>【ヨーロッパ各論】 英国/フランス/スペイン/オーストリア/ドイツ/イタリア/その他</p> <p>【中東・アフリカ各論】 トルコ/エジプト/南アフリカ共和国/中東エリア</p> <p>【期末試験と解説】 期末試験/解説 各期 2 時間ずつ</p>				
成績評価 方法	評価試験、出席率、授業態度、意欲(小テストは意欲に含まれる)				
成績評価 基準	<p>A : 評価試験 80 点以上、かつ出席率 80%以上、かつ平常点 優</p> <p>B : 評価試験 60 点以上、または出席率 70%以上、または平常点 良</p> <p>C : 評価試験 40 点以上、または出席率 60%以上、または平常点 可</p> <p>D : 評価試験 40 点未満、または出席率 60%未満、または平常点 不可</p>				

学生へのメッセージ

職業として旅行を扱うには、当然ながら世界の地理についての基本的な知識は必須です。世界は広い！そして面白い！

シラバス(授業計画)

科目名	総合旅行実務Ⅰ		科目区分	専門科目
対象	観光科トラベルコース		授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期：2単位	時間数
担当	松川 信也			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・無	元添乗員。観光系の専門学校において旅行や国家試験対策の教鞭実務経験あり。		
授業概要	ビジネスでの海外渡航はもちろん、「海外旅行」を我慢し控えている人々は多数おり、また日本に入国できず困っている海外の人々も多数いる。コロナ騒動が終結すれば一気に増大するであろう「海外渡航」、および外国人の「日本入国」に焦点を当て、①海外航空業界情報(2レター・3レター修得含む)修得 ②来日する外国人向け日本の魅力を、国内ツアーを作成しアピールし、後期のインバウンド系授業に繋げる の2点で実施する。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ後を想定した海外航空業界事情を説明できる。 ・国際航空約款の主要部分を理解し、説明できる。 ・主要2レター(航空会社コード)、3レター(海外都市・空港コード)の習得 ・来日する外国人に日本の魅力を感じてもらえる国内ツアーを作成してアピールする 			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意			
教科書教材	なし			
授業計画	<p>以下の4部構成となる</p> <ol style="list-style-type: none"> 【海外航空業界事情・知識の習得】 海外の航空業界全般、主要キャリア、LCC等の知識を習得する。 海外主要キャリアについては、全ての日本乗り入れキャリアを含め2レターコードを習得する。 【国際航空約款】 日本航空(JAL)の「国際航空約款」を通して、国内約款との違いも含めて約款上のルールを習得する。 【3レターコード(海外都市・空港)の習得】 海外地理系の科目と連動させ、業務上で必要となるであろう3レターコードをマスターする。 【来日外国人に日本の良さをアピールする国内ツアーの作成・発表】 1年次に修得した国内観光の知識を発展させ、この主旨に沿って国内ツアーを各自パソコンを使って作成し、発表する。 			
成績評価方法	上記1～3について習得度合いチェックを期末時に実施(期末試験として)する。2レター、3レターについては随時小テスト実施。上記4については、パワーポイントで作成されたツアーのプレゼンテーションを評価し、最終的な授業評価は両者の総合評価とする。			
成績評価基準	<p>A: 評価試験 80点以上、かつ 出席率 80%以上、かつ 平常点優</p> <p>B: 評価試験 60点以上、かつ 出席率 60%以上、かつ 平常点良以上</p> <p>C: 評価試験 40点以上、かつ 出席率 60%以上、かつ 平常点可以上</p> <p>D: 評価試験 40点未満、または 出席率 60%未満、または 平常点不可</p>			

学生へのメッセージ

上記「授業概要」にも記載の通り、「コロナ終結後」を見据え、当講座にて終結後の一気に膨らむ海外との往来に備えてほしい。皆さん自身の海外旅行にも、事前準備としてぜひ役立ててほしい。

シラバス(授業計画)

科目名	国内観光資源Ⅲ	科目区分	専門科目
対象	観光科トラベルコース・鉄道科鉄道交通サービスコース	授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期 :2 単位
担当	松川 信也		
	実務経験 : <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	元添乗員。観光系の専門学校において旅行や国家試験対策の教鞭実務経験あり。	
授業概要	<p>1年次に国内の基礎観光地を学習したので、当授業では、以下の2本立てで幅広い知識を身につける。</p> <p>I・国内の旅を楽しむ応用材料として</p> <p>①「日本の有名駅弁」…駅弁の楽しみ方と実際の有名駅弁を学習</p> <p>②「日本神話のふるさと」…古事記・日本書紀に出て来る出雲神話や日本創世神話をその舞台となった場所を近辺の観光地とともに学習</p> <p>③「日本のパワースポット」…勝負運、金運、縁結びなど、パワースポットと言われる場所をその近隣の観光地とともに学習</p> <p>II・国内の主要輸送手段である「鉄道」「航空」について、雑学的なものも含めて種々の知識を拡充する</p>		
到達目標	上記3つの応用地理テーマ(駅弁・日本神話のふるさと・パワースポット)の主たる内容を理解し、国内旅を楽しむ手段を身につける。また国内輸送における「鉄道」「航空」に関して、幅広い知識を身につける。		
検定資格	なし		
教科書教材	なし(プリント配布)		
授業計画	<p>I. 日本の有名駅弁</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際の有名駅弁をDVDなどの映像を使って学習。 ・その駅弁の販売されている地域の特性や文化なども学習。 <p>II. 日本神話のふるさと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古事記の「日本創世」～「ヤマトタケル」までのストーリーを理解。「マンガ古事記」やDVDを利用する。 ・それらの舞台となっている場所を把握し、結果そこが観光地となった所以や、関連観光地の知識を習得する。 <p>III. 日本のパワースポット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・俗にいう「パワースポット」を「武運」「金運」「縁結び」の観点より整理。 ・それらの具体的場所を把握し、併せて周辺観光地も学習。 <p>IV. (並行学習) 日本国内の輸送手段「鉄道」「航空」に関する、雑学的なものも含めた種々の知識習得。</p>		
成績評価方法	各パート終了ごとに小テスト実施し、平常点としてカウントする。欠席の場合は0点扱いなので注意。期末評価試験も実施し、期末試験、出席率、平常点の総合評価とする。		
成績評価基準	<p>A: 評価試験 80 点以上、かつ 出席率 80%以上、かつ 平常点優</p> <p>B: 評価試験 60 点以上、かつ 出席率 60%以上、かつ 平常点良以上</p> <p>C: 評価試験 40 点以上、かつ 出席率 60%以上、かつ 平常点可以上</p> <p>D: 評価試験 40 点未満、または 出席率 60%未満、または 平常点不可</p>		

学生へのメッセージ

1年次の国家試験対策中心となる「国内旅行地理Ⅰ～Ⅲ」とはやや観点を換え、実務上役に立つさまざまな国内観光トピックスを取り上げます。楽しく学習しながら知識を深めましょう。

シラバス(授業計画)

科目名	接客手話Ⅰ・Ⅱ		科目区分	専門科目
対象	観光科トラベルコース・鉄道科鉄道交通サービスコース		授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：15時間 後期：15時間
担当	飯塚 佳代			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	手話通訳士		
授業概要	ユニバーサルサービスとして接客における手話を身に着ける。前期は5級の単語学習中心におこない、後期は4級単語学習を行う。聴覚障がいをお持ちのお客様に対して手話でのコミュニケーションがとれるようにする。			
到達目標	1年次においては手話検定4級レベルを目指す。			
検定資格	なし ・ 必修 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 任意 名称：手話技能検定4級			
教科書 教材	手話技能検定公式テキスト3・4級(日本能率協会マネジメントセンター)			
授業計画	<p>【日常生活に必要な基本を学習Ⅰ】 あいさつ・天候・疑問・数字・日にち・時間・家族・色・方角・感情・動作・自然・仕事などを学習する。</p> <p>【日常生活に必要な基本を学習Ⅱ】 食べ物・動物・スポーツ・趣味・乗り物・形容詞・副詞・施設・地名・接客手話などを学習する。</p> <p>【日常生活に必要な基本を学習Ⅲ】 手話で行う歌や検定対策に向けて過去問題の学習を行う。</p> <p>【聴覚障害概要の学習】 手話とは・聴覚障害者とは・耳の構造・聴覚障害の種類・聴覚障害者数・聞こえのレベル・身体障害者等級・聴覚障害者のコミュニケーション方法・合理的配慮・手話言語条例・強味と弱味・ろう文化など</p>			
成績評価 方法	授業内におこなう実技試験と期末試験、出席率、授業態度を総合的に評価します。			
成績評価 基準	<p>A: 評価試験 80 点以上、出席率 90%以上、平常点優</p> <p>B: 評価試験 60 点以上、出席率 70%以上、平常点良</p> <p>C: 評価試験 40 点以上、出席率 60%以上、平常点可</p> <p>D: 評価試験 40 点未満、出席率 60%未満、平常点不可</p>			

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	観光実務Ⅱ・Ⅲ			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベルコース			授業形式	講義
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：2単位 後期：1単位	時間数	前期：30時間 後期：15時間
担当	立石 智之				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	旅行業界にて実務経験あり。セールスや内勤、コールセンター等で9年経験。			
授業概要	観光業界において必要な、様々な知識を養う。 レジャーや各地の特産などを勉強したうえで、どのように提供するかを考える				
到達目標	自信をもって人に観光資源(歴史・生活・文化・食事など)を紹介できるようにする				
検定資格	<input type="checkbox"/> ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	「国内観光資源」(JTB 研究所) 「海外観光資源」(JTB 研究所) ※その他、適宜プリントを使用する				
授業計画	<p>【知識の習得】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クルーズ:国内・海外のさまざまクルーズ船についてどのような違いがあるかを学ぶ ・レンタカー:車の基本的な種類を覚える。また、保険などのカバーされるものなどについて学ぶ ・食事:国内・海外の観光地での名物料理について学ぶ <p>【旅行会社における業務の習得】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットラックの設置、作成 ・観光素材ボードの作成 ・観光地におけるガイド案内の理解 <p>1年時に学んだ上記について旅行パンフレットやインターネットの商品から各素材について、掘り下げて学ぶ</p>				
成績評価 方法	期末テストの点数(授業理解度)と出席率、平常点のすべてにおいて基準を満たすものを評価とする。				
成績評価 基準	<p>A: 授業理解度プレゼン評価 80点以上、出席率90%以上、平常点優</p> <p>B: 授業理解度プレゼン評価 60点以上、出席率80%以上、平常点良</p> <p>C: 授業理解度プレゼン評価 40点以上、出席率60%以上、平常点可</p> <p>D: 授業理解度プレゼン評価 40点未満、出席率60%未満、平常点不可</p>				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	観光プランニングⅢ・Ⅳ		科目区分	専門科目
対象	観光科トラベルコース、鉄道科鉄道・交通サービスコース		授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：2単位 後期：2単位	時間数 前期：30時間 後期：30時間
担当	立石 智之			
	実務経験：有・無	立石：旅行業界にて実務経験あり。セールスや内勤、コールセンター等で9年経験。		
授業概要	<p>昨今の観光とは、ただ「旅行に行く」だけではありません。</p> <p>お客様毎に達成したい目的を観光業に携わる観点から考察し「どのようにしたらお客様に喜んでもらえるか」「どうすればお客様に選ばれるか」を考えながら様々なイベントを企画します。</p> <p>また各観光地を題材にしたイベント等にも参加し、お客様から見た視点を養い、改善点や問題点を見つけどのようにすれば改善できるかをグループワークを用いて学習します。</p>			
到達目標	<p>1年次に学習したプランニングの基礎を用いて、自分達の旅行計画や他の人に向けての計画を作成する</p> <p>実際に各地のイベントを参考にしながら新しいイベントの企画立案や企画書の作成を行い</p> <p>グループワークを中心としながら、様々な視野を持ってお客様に対応できるよう学習する</p>			
検定資格	なし・必修・任意 名称:			
教科書 教材	なし			
授業計画	<p>授業の概要説明と進め方</p> <p>テーマ作成に当たっての注意</p> <p>ツアープランニングの補足説明、ツアー作成のポイント説明</p> <p>グループ分け、ツアーテーマ仮決定、意見交換会議</p> <p>打合せ内容を基にツアーテーマの最終決定</p> <p>決定したツアーテーマでの行程表作成</p> <p>各グループのプレゼン内容の検討、再構成</p> <p>パワーポイントの作成、企画発表準備</p> <p>プレゼンシミュレーション、資料作成</p> <p>各グループに分かれてイベントを体験・作成することにより問題点を意見しあう。</p> <p>また実際に各地のイベントに参加し、事前の問題点に改善があるのか考察すると共に新しい発見を見つける。</p> <p>グループ内で、意見をだしあい資料を作成。</p> <p>発表用パワーポイント作成と、シナリオ作成</p>			
成績評価 方法	プレゼン評価を点数化し、出席率、平常点の総合点数にて評価する			
成績評価 基準	<p>A: 授業理解度プレゼン評価 80点以上、出席率90%以上、平常点優</p> <p>B: 授業理解度プレゼン評価 60点以上、出席率80%以上、平常点良</p> <p>C: 授業理解度プレゼン評価 40点以上、出席率60%以上、平常点可</p> <p>D: 授業理解度プレゼン評価 40点未満、出席率60%未満、平常点不可</p>			

学生へのメッセージ

--

シラバス(授業計画)

科目名	世界遺産			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベルコース			授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期：1単位	時間数	前期：15時間
担当	立石 智之				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	旅行業界にて実務経験あり。セールスや内勤、コールセンター等で9年経験。			
授業概要	2021年9月現在世界中で1,121件が登録されており、日本にあるユネスコ世界遺産は25件（文化遺産20・自然遺産5）が登録されています。世界遺産の素晴らしさや、美しさをテキスト中心に学習します。同時に戦争などにより「危機にさらされている世界遺産」や「負の遺産」とよばれる世界遺産の存在を学び、後世に残すべき貴重な遺産について一緒に学んでいきます。				
到達目標	世界遺産検定3級の合格				
検定資格	なし・必修・ <input checked="" type="checkbox"/> 任意 名称:世界遺産検定3級				
教科書 教材	きほんを学ぶ世界遺産 100 世界遺産検定3級公式テキスト				
授業計画	<p>世界遺産の基礎知識 テキストを使用し、『世界遺産誕生のきっかけ』『登録と申請』、『ユネスコ』『無形文化遺産』『登録の基準』『世界遺産と観光』についてそれぞれ学ぶ。</p> <p>日本の世界遺産 テキストを使用し、『日本の登録されている世界遺産25か所』（文化遺産20件・自然遺産5件）を学ぶ。</p> <p>テーマで見る世界遺産 テキストを使用し、『文化的景観』『戦争・紛争』『危機遺産』『負の遺産』『危機遺産リスト』『世界各国の遺産』についてそれぞれ学ぶ。</p>				
成績評価 方法	小テスト、期末テストの点数と出席率、平常点の総合点数にて評価する。				
成績評価 基準	A: 評価試験 80 点以上、出席率 95%以上、平常点 15 点以上優 B: 評価試験 70 点以上、出席率 80%以上、平常点 10 点以上良 C: 評価試験 30 点以上、出席率 60%以上、平常点 5 点以上可 D: 評価試験 30 点未満、出席率 60%未満、平常点 5 点未満不可 ※平常点は、授業への参加度や授業態度などを加味して 20 点満点とし、上記評価点数に組み込まれる。				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	Travel English II・III		科目区分	専門科目		
対象	観光科トラベルコース		授業形式	演習		
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：15時間 後期：15時間		
担当	Robert					
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/>					
授業概要	旅行業界で添乗員として働く際に遭遇する場面での「仕事で使えるフレーズ」を覚えることを目的とします。2年次の前期は空港到着からホテルチェックインまで、後期はレストラン、観光地、そしてホテルチェックアウトでの英語を習得します。シンプルなキーセンテンスを応用して使えるように、会話、リスニング、アクティビティを通して反復練習をしていきます。					
到達目標	テキスト Travel English II と III の Conversation を暗記し、添乗員のパートを、テキストを見ないで会話することが出来る。					
検定資格	<input type="checkbox"/> ・ 必修 ・ 任意 名称:					
教科書 教材	オリジナルテキスト					
授業計画	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>【空港で使う英語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手荷物の破損/紛失 ・紛失手荷物の対応(別送) <p>【ホテルで使う英語(チェックイン)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホテルチェックイン予定時刻の連絡 ・ホテル所在地の確認 ・団体チェックイン ・客室でのトラブル ・客室アメニティの補充 <p>【復習/会話テスト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復習 ・1人ずつ会話テストを実施 </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>【レストランで使う英語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体予約の確認 ・メニューの確認 ・アレルギー対応 ・支払い <p>【観光地で使う英語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オプション予約の確認 ・入場料の確認 <p>【ホテルで使う英語(チェックアウト)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手荷物ピックアップ時刻の確認 ・支払い内容のクレーム <p>【復習/会話テスト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復習 ・1人ずつ会話テストを実施 </td> </tr> </table>				<p>【空港で使う英語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手荷物の破損/紛失 ・紛失手荷物の対応(別送) <p>【ホテルで使う英語(チェックイン)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホテルチェックイン予定時刻の連絡 ・ホテル所在地の確認 ・団体チェックイン ・客室でのトラブル ・客室アメニティの補充 <p>【復習/会話テスト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復習 ・1人ずつ会話テストを実施 	<p>【レストランで使う英語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体予約の確認 ・メニューの確認 ・アレルギー対応 ・支払い <p>【観光地で使う英語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オプション予約の確認 ・入場料の確認 <p>【ホテルで使う英語(チェックアウト)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手荷物ピックアップ時刻の確認 ・支払い内容のクレーム <p>【復習/会話テスト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復習 ・1人ずつ会話テストを実施
<p>【空港で使う英語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手荷物の破損/紛失 ・紛失手荷物の対応(別送) <p>【ホテルで使う英語(チェックイン)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホテルチェックイン予定時刻の連絡 ・ホテル所在地の確認 ・団体チェックイン ・客室でのトラブル ・客室アメニティの補充 <p>【復習/会話テスト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復習 ・1人ずつ会話テストを実施 	<p>【レストランで使う英語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体予約の確認 ・メニューの確認 ・アレルギー対応 ・支払い <p>【観光地で使う英語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オプション予約の確認 ・入場料の確認 <p>【ホテルで使う英語(チェックアウト)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手荷物ピックアップ時刻の確認 ・支払い内容のクレーム <p>【復習/会話テスト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復習 ・1人ずつ会話テストを実施 					
成績評価 方法	評価試験は会話テストを実施し、出席率・授業態度と総合して評価します。					
成績評価 基準	<p>A: 評価試験 80 点以上、出席率 90%以上、平常点優</p> <p>B: 評価試験 60 点以上、出席率 80%以上、平常点良</p> <p>C: 評価試験 50 点以上、出席率 60%以上、平常点可</p> <p>D: 評価試験 50 点未満、出席率 60%未満、平常点不可</p>					

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	旅行業英語 I・II			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベルコース			授業形式	講義
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：15時間 後期：15時間
担当	担当講師				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	旅行業界にて国内外の添乗員として20年の実務経験あり。			
授業概要	<p>目的: 旅行業界に就業するにあたっての知識の習得。総合旅行業務取扱管理者受験のための、<u>基礎知識</u>の習得。 概要: 旅行業界で使用される文書(条件書、約款等)や、旅行の現場で目にする文書(告知等)を取り上げ、読解力を高める。業界で頻出する表現を学ぶ。 ※総合旅行業務取扱管理者試験の合格をターゲットとした授業ではありません。合格のためには別途学習が必要です。</p>				
到達目標	平易な文章であれば、英文の条件書等の内容を正確に読み取ることができる。				
検定資格	<input type="checkbox"/> ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	国際航空運賃、旅行業英語(JTB 総研) 適宜プリント配布				
授業計画	<p>【契約に関する文書】 用語習得／ランドオペレーターと旅行会社間／ 入場施設／ホテル／交通機関／インターネットでの申し込み 小テストを行う</p> <p>【期末試験】 期末試験と解説</p>				
成績評価 方法	小テスト、評価試験、出席率、授業態度、意欲				
成績評価 基準	A: 評価試験 80 点以上、かつ出席率 80%以上、かつ平常点優 B: 評価試験 60 点以上、または出席率 70%以上、または平常点良 C: 評価試験 40 点以上、または出席率 60%以上、または平常点可 D: 評価試験 40 点未満、または出席率 60%未満、または平常点不可				

学生へのメッセージ

本授業で取り扱うのは、就職してから必要となる業務の英語です。

シラバス(授業計画)

科目名	English Communication I・II			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベルコース			授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：15時間 後期：15時間
担当	Mark				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無				
授業概要	Students will improve their English communication skills with a variety of conversation, speaking and activity-based classes with a native English teacher.				
到達目標	Students will become used to interacting with a native English speaker, and learn a variety of English skills that they will be able to use in future at work and when travelling and studying abroad.				
検定資格	<input checked="" type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:				
教科書 教材	Stretch Starter Student Book (Oxford)				
授業計画	<p>前期</p> <ul style="list-style-type: none"> - Meeting people - Countries & nationalities - Family - Describing people - Food & drinks - Things we do <p>後期</p> <ul style="list-style-type: none"> - At home - Free time activities - Popular sports - Big events - Plans - On vacation 				
成績評価 方法	下記評価基準に準じて決定する				
成績評価 基準	<p>A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 80%以上、平常点 優</p> <p>B: 評価試験(理解度)60%以上、出席率 65%以上、平常点 良</p> <p>C: 評価試験(理解度)30%以上、出席率 60%以上、平常点 可</p> <p>D: 評価試験(理解度)30%未満、出席率 60%未満、平常点 不可</p>				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	危機管理	科目区分	専門科目
対象	観光科トラベルコース、鉄道科鉄道・交通サービスコース	授業形式	講義
実施期	2年 後期	単位数	後期: 1単位
担当	立石 智之		
	実務経験: <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	旅行業界にて実務経験あり。セールスや内勤、コールセンター等で9年経験。	
授業概要	危機管理とは、不測の事態に対して事前に準備される、被害を最小限に食い止めるための対策のことを言います。この授業では皆さんの生活や今後の社会人人生を考え、地震・火災またお客様の負傷時の知識の他、SNS情報など様々なリスクを学び、さらにそれらのリスクを発生させない防止策や発生時にスタッフが冷静で迅速な案内ができるように演習を行います。		
到達目標	・社会のあらゆるリスク、SNS(情報)・災害(地震・火災)、人身事故による緊急搬送等の基本的な知識を持ち、自らが進んで行動できる		
検定資格	<input type="checkbox"/> ・ 必修 ・ 任意 名称:		
教科書 教材	なし		
授業計画	<p>【情報伝達・社外秘の重要性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNS サービスの怖さ ・社外秘の重要性 ・社会における機密の重要性 <p>【地震・火災】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震・火災防止知識・発生時の基礎知識 ・社会における災害対策設備知識 ・災害時初期対応・実技練習 ・応急対応や緊急時の搬送について <p>【確認テスト実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループに分かれ災害対策演習 ・確認テストの実施 		
成績評価 方法	小テスト、期末テストの点数(授業理解度)と出席率、平常点のすべてにおいて基準を満たすものを評価とする。		
成績評価 基準	<p>A: 授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点優</p> <p>B: 授業理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点良</p> <p>C: 授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点可</p> <p>D: 授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点不可</p>		

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	インバウンド業務			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベルコース			授業形式	講義
実施期	2年 後期	単位数	後期：1単位	時間数	後期：15時間
担当	立石 智之				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有・無	旅行業界にて実務経験あり。セールスや内勤、コールセンター等で9年経験。			
授業概要	インバウンド・ツーリズムについて インバウンド・ツーリズムは我が国に多くの経済効果をもたらす事業である。 授業ではインバウンドの基礎知識と現状を理解し、皆さんで魅力あるツアーを考えます。 インバウンド・ツーリズムの将来の動向を考えていきます。				
到達目標	インバウンド業界の基礎知識を得る。				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:				
教科書 教材	なし				
授業計画	<p>【インバウンドとは】 インバウンドの現状を把握する</p> <p>【インバウンドの現状と実態】 訪日外国人旅行者数の推移 実際の行程や観光コース、ショッピングの状況</p> <p>【各国のインバウンド事情と推移】 外国の外国人旅行者数と訪日外国人旅行者数の比較</p> <p>【訪日旅行者に人気の観光地】 どんな場所が人気なのか</p> <p>【インバウンドツアーの作成】 グループワークで訪日ツアーを考える(ツアー作成) 作成したツアーの発表</p>				
成績評価 方法	小テスト、期末テストの点数(授業理解度)と出席率、平常点のすべてにおいて基準を満たすものを評価とする。				
成績評価 基準	A: 授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 授業理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点良 C: 授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

--

シラバス(授業計画)

科目名	総合旅行実務Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベルコース			授業形式	演習
実施期	2年 後期	単位数	後期 :2 単位	時間数	後期 :30 時間
担当	松川 信也				
	実務経験 : <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	元添乗員。旅行コンサル会社経営。総合旅行業務取扱管理者。			
授業概要	1年次より学習した海外系科目の成果として、自分の考える「海外旅行」をプランする。海外地理の知識はもとより、空港やエアラインの知識、出入国の知識なども総動員して、納得のゆく最高のツアーを作成してほしい。旅行先は自分で決めるが、ツアー催行の条件(テーマ、費用、日程ほか)は講師より与えられ、それに従って作成する。				
到達目標	海外旅行(個人旅行)を作成し、その内容をプレゼンテーションできる。				
検定資格	<input type="checkbox"/> ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書教材	なし(授業内に貸し出す「地球の歩き方」(国別)を利用)				
授業計画	<p>授業(作業)はパソコン教室で行い、書面ベースでのプランの提出後、ツアーのアピールポイントをプレゼンテーションする。</p> <p>段階1.【ツアーの概略設計】 ツアー催行条件を正しく理解し、各自が最良と思える場所・行程体験内容を考えて概略を提出。講師のアドバイスを受けながら、アウトラインを作成する。</p> <p>段階2.【ツアーの詳細設計】 上記のアウトラインに基づき、パソコンを使ってネット上の旅行検索サイト、並びに学校より貸し出す書籍「地球の歩き方」を利用し、実際に行くことを想定してプランする。日程も特定し、金額や場所等もそのまま旅行に出られるレベルで設計する。</p> <p>段階3.【作成したツアープランの提出】 上記で作成したプランを、「行程表」「費用一覧表」「ツアーのアピールポイント」を紙媒体で作成し提出する。</p> <p>段階4.【作成したツアープランのプレゼンテーション】 上記で作成したプランの魅力を、1名10分でプレゼンテーションする。クラスメート、およびレビューに来た先生方の前で行う。</p>				
成績評価方法	書面での「ツアープランの提出」、並びに「プレゼンテーションの実施」が揃って共に期日までに終わって単位付与となる。提出物の「ツアープラン」及び「プレゼンテーション」が評価試験扱いとなる。出席率、平常点の総合評価となる。				
成績評価基準	<p>A: 評価試験 80 点以上、かつ 出席率 80%以上、かつ 平常点優</p> <p>B: 評価試験 60 点以上、かつ 出席率 60%以上、かつ 平常点良以上</p> <p>C: 評価試験 40 点以上、かつ 出席率 60%以上、かつ 平常点可以上</p> <p>D: 評価試験 40 点未満、または 出席率 60%未満、または 平常点不可</p>				

学生へのメッセージ

海外のツアーを造る体験、ある意味「夢を実現する体験」であり、諸先輩たちは楽しんで作業をしていました。ネット上で実際の旅行検索サイトを使いますので、今後のご自身の旅行実施のノウハウも取得できます。プレゼンテーションでは、ご自身の作品を楽しく大いにアピールいただきたいです。